

定住・防災・財産

質 包括連携協定を結んでいる企業の商品が、ふるさと納税返礼品に入っているが、総務省通達に違反しないか。

答 (定住少子化担当室)

返礼品の取扱い制限が厳しくなったので、通達により、地場産品に限定した。

質 女性が輝き活躍するコンパクトシティ事業について、4本委託料が出ているが、具体的にどんな事業を委託し、またその成果は。

答 (定住少子化担当室)

この事業は平成28年度から5カ年計画で地方創生交付金を活用している。旧土木事務所活用調査委員は耐震や改修の可能性、建築確認等事前調査、設計監理業務委託は改修設計と工事監理、創生推進拠点施設開設準備業務委託は開業に向けた事前調

査。女性が輝き活躍するまちづくり推進業務委託は起業・経営に向けたセミナーやワークショップを実施したが起業に至った例は無い。

質 備蓄品の中に液体ミルクは入っているか。

答 (安全防災担当室)

常温保存が可能であるため、今後、追加保管する。

質 中丸や中河原の町営住宅地の返却が決まったが、跡地利用について、積極的に関与すべきだ。

答 (副町長)

宅地として整備するためには、付帯工事が必要になる。地権者と利活用に向けた話し合いを進める。

質 昭和30年代に植林した町有林の杉、桧が60年経過している。小学校建

設材として利用できるか。
答 (総務課)

あり、建材品としては難しい。

民生・衛生

質 有害獣防止柵の補助金が予算に対して利用実績が年々落ちている。もっと、町民が利用しやすい方法を検討すべきではないか。

答 (観光経済課)

平成30年度に「お知らせ号」、「広報まつだ」で周知したが利用は1件のみだったので、利活用を促進するために、農家の方々のニーズを伺って進めていく。

質 一般会計から下水道事業特別会計への繰出金が1億2920万円あるが、合併処理浄化槽の補助金の額が9万円であり不公平を感じる。合併処理浄化槽の普及が進まないのは個人負担の重さにもあるのではないか。

答 (環境上下水道課)

以前から比較の中で、合併処理浄化槽と下水道処理の差異は出ている。完全に埋め切れるわけではないが、補助の拡充などご理解が得られるよう、今後も継続して考えていく。

質 子育て支援センターが旧松田土木事務所に移ったが、初め利用者からの要望で2階に設置したという説明があった。2階までベビーカーを持つていくのが大変だという利用者の声を聞いている。どうなのか。

答 (子育て健康課・定住少子化担当室)

一般の方の建物への出入りがあるという話の中で2階にあった方が安全

面の配慮から良いだろうと判断した。ベビーカーについては、1階に置いて、スタッフがフォローする方法で対応しておりインターフォンを1階に設置している。

質 学童の増加傾向は本当なのか。その対策として職員、先生といった人たちへの研修体制、スキルアップはどのようになっているか。

答 (子育て健康課)

学童の通所人数は、ここ数年横ばい状態で、平成30年度は松田85名、寄6名です。支援員の研修は、県で実施している支援員研修等への参加は3、4日、平成30年度は10名が受講している。

答 (環境上下水道課 長・副町長)

木材を使つてのバイオマスのエネルギー導入ということで、時期及び制度、あるいは内容を鑑みたうえで、すぐに導入という事ではなく、導入の実現性を探るための調査についての100%補助であり、今後の事業推進に当たって、正確な補助事業と判断し環境省に応募したという経緯である。当然、成果報告書を提出する。

質 足柄上衛生組合負担金は513万円であるが、松田町の公共下水が整備されている区域で下水道に接続されていない世帯はあるか。

答 (環境上下水道課長)

接続率が91.3%で、それ以外は汲み取りである。下水道未接続世帯の経済状況や年齢状況を考慮して、どういった対策が効果的か研究したいと考える。